

< 第三種郵便物認可 >

計一
設ナ
一
十三
二七

人材の確保・定着、生産性向上

「健康増進経営」が鍵

建築設備の設計・監理業務を手掛ける二十一設計（横浜市西区）の桑田哲司社長は、賛助会の二十一倶楽部と合同で開いた20日の「健康増進経営からの生産性向上と採用活動」セミナーで、優秀な人材を採用するためには「健康を維持でき、ワーク・ライフ・バランスを保てる企業であること」の必要性を説いた。併せて「社員が定着し、活気ある会社としてさらに収益を上げるためには健康増進経営が重要だ」と強調した。

動といった健康の三大要素やビジネスマインドの高め方を解説しながら、同社が実践する業務時間・有給休暇の見える化や「一日計画ノート」の作成・運用、オフィスでの昇降式デスクの導入、バランスポート・青竹踏みの使用などを紹介した。

働き方改革や生産性向上をより一層推進していく方針を示した。

加えて、採用活動の強化を目指し、二十一倶楽部の会員各社との共同開催によるインターンシップを新たな試みとして検討していることを明かした。

当日はその他、二十一倶楽部の総会と懇親会を開催。収支予算や事業計画を承認するとともに、

セミナーには約100人が参加。冒頭、同社が健康経営の目的として着眼する▽従業員満足度の向上▽生産性の向上▽優秀な従業員の採用、定着の3点を踏まえ、健康管理を経営的視点から戦略的に実践する「健康増進経営」の考え方を説明。また、睡眠や食事、運



桑田社長の講演内容に耳を傾ける受講者